

公示用

設 計 書

工事名称 菊水上町団地 1 号棟電気温水器改修工事

工事内容説明書

1. 工事名称 菊水上町団地 1 号棟電気温水器改修工事

2. 施工場所 札幌市白石区菊水上町 4 条 1 丁目

3. 請負工事費

内訳 工事価格

消費税等相当額

4. 工期 契約に示す着手の日から 令和 7 年 1 2 月 1 2 日 まで

5. 工事内容 菊水上町 1 号棟の電気温水器（200L×18台、460L×42台）計60台の改修工事を行う。

共通費の算定に用いる工期 T = 5.1月

本工事は、発注業務平準化を考慮し早期発注している為、共通費算出に用いる工期Tは余裕期間を除き算定している。

（機器や労働者確保等の準備に要する現場着手までの期間については、現場代理人の常駐を要しない。）

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		契約保証費含む
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

菊水上町団地 1 号棟						
給湯設備			(機器費)			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
EB-1 電気温水器	角型配管内蔵、8時間通電制御(マイコン)型(深夜電力)、缶体容量200L、給湯温度90 以下、1φ 200V4.4Kw、缶体SUS 付属品:逃し弁、ドレパン、転倒防止金物、排水フロ-弁、減圧弁、脚部カバー		台			
EB-2 電気温水器	丸型マシヨンタイプ、8時間通電制御(マイコン)型(深夜電力)、缶体容量460L、給湯温度90 以下、1φ 200V5.4Kw、缶体SUS 付属品:逃し弁、転倒防止金物、排水フロ-弁、減圧弁、絶縁カバー、おハ-		台			
計						

[illegible]

[illegible]

29.揮発性有機化合物対策

揮発性有機化合物が含有しているおそれのある材料については安全データシート等により確認を行い、極力揮発性有機化合物が少ない材料、または含有していない材料の使用に努めること。
使用する材料はF☆☆☆☆等の規制対象外材料を基本とし、該当する材料がない場合は、F☆☆☆又は同等品とすること。
また、施工時・完了後引渡し前においては、揮発性有機化合物の放散を促進するため、繰り返し換気を行わなければならない。

30.揮発性有機化合物の室内濃度

測定対象工事の受注者は、検査機関（計量法第122条に定める計量士を配置し、計量法第107条に定める計量証明事業登録を行っている機関）に依頼し揮発性有機化合物の室内濃度測定を行い、基準値以下であることを確認の上、測定結果の報告書等を監督員に提出しなければならない。
(1)測定物質ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン
(2)測定方法札幌市公共建築物シックハウス対策指針及び同解説に基づき、拡散法（パッシブ法）より測定する。
(3)測定時期及び箇所（測定位置等は監督員と協議のこと）
●施工前1箇所 ●施工後1箇所

31.その他

1.一般事項の内、監督員が不要と指示したものは省略できる。
2.計量単位は国際単位系（SI単位）とする。
3.工事の施工にあたって、札幌市の「環境方針」「札幌市公共建築物環境配慮ガイドライン」の意図を理解し、環境に配慮した施工に努めること。
4.当該工事における適用法令等を遵守し、必要となる法令等を特定した上で、その一覧（適用法令・要領・要綱・指針・基準・届出時期等）を作成し施工計画書に明示すること。また、監督員に法令等の遵守状況を月報等で報告し、しゅん功時には届出書(写)を提出すること。
5.当該工事における苦情への対応及び報告書について、施工計画書に明示すること。また、監督員にその都度報告し指示を受けること。しゅん功時には報告書(写)を提出すること。
6.受注者は、電波法令を遵守し、不法無線局（電波法に規定する免許または登録をせずに開設する無線局 例：不法アマチュア局、外国製無線機（FRS／GMR S）など）及び無線局の違法な運用（免許または登録を受けていながら、電波法の範囲を逸脱して使用することなど 例：アマチュア局を使用した業務連絡など）を行ってはならない。
7.交通安全管理公道等において工事を行う場合は、必要な保安施設を設置し、交通安全に努めること。なお、必要に応じて交通誘導警備員を配置するが、北海道公安委員会が認定する路線における工事現場には、一級又は二級検定合格警備員を交通誘導警備員として配置する。
8.酸欠等作業場所第1種、第2種酸欠場所においては、法律等関係法令を遵守し安全に努めること。
9.火気の使用場所においては、確実に消火の確認を行い安全に努めること。
10.高所作業における落下、転倒事故防止に努めること。
11.現場代理人は、作業員に対し腕章、名札等を着用させその身分を明確にしなければならない。
12.作業員の服装、言動には十分留意すること。
13.公衆災害の防止及び安全管理について 施工範囲の埋設物に十分注意し、「建築工事安全施行技術指針」及び「建設工事公衆災害防止対策要綱」を遵守すること。

32.工事記録写真撮影要領

1.工事記録写真(1)工事記録写真については、機械設備工事記録写真撮影要領（機械設備工事提出書類、様式集及び施工要領集）（平成25年版）、宮縄工事写真撮影要領（工事契約日時点の最新版を適用）による。
印刷等の出力については①プリンターはフルカラーで300dpi以上 ②用紙・インク等は通常の使用条件のもとで3年間程度顕著な劣化が生じないものを使用する。
また、デジタルカメラ使用の場合は記録画素数を1280×960以上とする。
(2)小黑板

工事名

撮影位置

監督員

年月日

12060606060300

120430

550

(寸法は参考とする)

33.工事標識

工事に先立ち監督員の指示により設置する。

800

850

2020036

工事標識

工事名

工事期間

年月日～年月日

施工者

会社

代表者名

TEL

担当

(一財)札幌市住宅管理公社 保全部設備課機械係

TEL211-3384

表面材

着色カラー鉄板白色 0.35mm厚さ

文字塗装は黒色フタル酸樹脂系エナメル

●耐震措置

機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据付け、取付け及び支持を行う。
(1)機器(ア)図面特記で指定された設計用標準震度を用いて耐震対策を検討し、必要に応じて耐震処置を行う。なお、図面特記に指定がない場合には「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」及び「建築設備耐震設計・施工指針」によるものとする。
(イ)基礎の施工は、「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」によるものとする。
(2)配管、ダクト等「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」により耐震を考慮し堅固に取付け、支持を行う。
なお、(1)(2)の仕様書・基準・指針等はすべて工事契約日時点の最新版とする。

施工条件（改修工事の場合）

○全館無人改修

●執務並行改修

○空調設備

○暖房設備

○冷房設備

1.空調方式

○全空気式

○空気－水式

○水方式

○冷媒方式

2.熱源

○重油

○灯油

○都市ガス

○液化石油ガス

○地域暖房

○木質ペレット

3.熱媒体

○冷温水

○温水

○高温水

○温風

4.設計空気条件

外気

室内

D.B

R.H

D.B

R.H

夏

冬

5.暖房機器及び付属品 図内機器表による。
6.冷房機器及び付属品 図内機器表による。
7.放熱器

○鉄鉄製放熱器

○ベースボードヒーター

○コンベクター

○ファンコンベクター

○パネルヒーター

○ファンコイルユニット

○FF暖房機

○パッケージエアコン

○ガスヒートポンプ

8.風道

(1)種別

○低圧

○高圧1

○高圧2

(2)種類

○鉄板製

○矩形

○アングル工法

○円形

○コーナーボルト工法

○共板工法

○スライド工法

(スパイラル)

○グラスウール製

○アルミ製

9.弁類

○青銅製

○鉄鉄製

○鉄鋼製

○ダクタイル製

○ステンレス製

10.管種

○配管用炭素鋼鋼管（○黒○白）

○一般配管用ステンレス鋼鋼管

○銅管（○L型○M型）

○冷媒用被覆鋼管

○ポリブデン管

○硬質塩化ビニルライニング鋼管（○黒○白）

11.保温

保温防露塗装特記仕様書による。

12.管内洗浄

配管施工中に管内に入ったゴミ、切削屑等の不純物を完全に除去すること。管内洗浄は系の配管施工（圧力試験迄）完了後、放熱器等の手前でバイパス等を組み、系全体の洗浄を行い、その記録を報告書として提出すること。

○自動制御設備

1.制御方式

○電気式

○空気式

○電子式

○デジタル式

2.中央監視制御

○あり

○無し

3.配管・配線等

配管、配線図は参考とする。

○換気（排煙設備含む）

1.方式

○中央

○局所式

2.風道

(1)種別

○低圧

○高圧1

○高圧2

(2)種類

○鉄板製

○矩形

○アングル工法

○円形

○コーナーボルト工法

○共板工法

○スライド工法

(スパイラル)

○グラスウール製

○アルミ製

3.送風機

図内機器表による。

○屋外給水設備

●屋内給水設備

1.水源

●上水

○その他（ ）

2.給水方式

○直結式

○高置水槽式

○圧力タンク式

○インバータ制御方式

●直結加圧方式

3.水栓

JIS規格品及びJWWA認証品等とする。

4.量水器

○直読型

○遠隔型（○貸与品○買取り）

5.量水器筐

○水道事業者指定品

○その他

6.弁類

JIS（○5K●10K）

○管端コア付

7.管種

○水道用鉄鉄管

○水道用鋼管

○水道用硬質ポリ塩化ビニル管

○水道用ポリエチレン二層管

○水道用ステンレス鋼鋼管

●一般配管用ステンレス鋼鋼管

8.管端防食

○管端防食継手

9.水槽

図内機器表による。
○FRP複合パネル（○メーカー標準仕様○国土交通省仕様○札幌市仕様）
○躯体ビット

10.給水ポンプ

図内機器表による。
○付属品（○標準仕様○国土交通省仕様）
札幌市水道局給水装置工事設計施工指針による。
保温防露塗装特記仕様書による。
○飲料用水槽内部薬品洗浄 管内洗浄（高周波法等）
○12項目○16項目
○要（別途）
受水槽以降も、飲料水系統の給水装置は、「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」（平成9年厚生省令第14号）の鉛浸出性能基準を適用する。

○屋外排水設備

●屋内排水設備

1.下水処理区域

○合流

○分流

2.排水方式

●自然流下

○ポンプアップ

3.管種

○排水用鉄鉄管

○硬質ポリ塩化ビニル管

○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（ORF-V P ORS-V U OREP-V U）

○遠心鉄筋コンクリート管

○鉛管

○鉄筋コンクリート管

●配管用炭素鋼鋼管（白）

○耐火二層管

○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管

○排水用/インターエポキシ塗装鋼管

○排水用硬質塩化ビニルコーティング鋼管

○コンクリート

○硬質塩化ビニル

図内機器表による。
付属品（○標準仕様○国土交通省仕様）
保温防露塗装特記仕様書による。
○要（別途）

4.樹類

5.排水ポンプ

6.防露

7.排水負担金

●給湯設備

1.給湯方式

○中央式

●局所式

2.熱源

○重油

○灯油

●電気

○都市ガス

○液化石油ガス

○地域暖房

3.管種

○水道用鋼管（○L型○M型）

○被覆鋼管（○L型○M型）

●一般配管用ステンレス鋼鋼管

○水道用耐熱性塩化ビニルライニング鋼管

4.弁類

JIS（○5K●10K）

○管端コア付

5.給湯機器及び付属品

図内機器表による。

6.保温

保温防露塗装特記仕様書による。

7.洗浄

○管内洗浄（高周波洗浄法等）

○消火設備

1.防火対象物の種別

消防法施工令 別表 第 項（ ）

2.消火方式

○屋内消火栓（○1号○易操作1号○2号○広範囲2号）

○スプリンクラー

○二酸化炭素消火

○粉末消火

○連結送水管

○連結散水

○その他

3.消火機器

図内機器表による。

4.管種

○配管用炭素鋼鋼管（白）JIS G 3452

○圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無鋼管）JIS G 3454

○消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 WSP 041

○一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448

○配管用ステンレス鋼管 JIS G 3459

○消火用ポリエチレン管（消防庁告示適合品）

○JIS 10K○16K（消防評定品）

保温防露塗装特記仕様書による。

消防法及び関係法令による。

○給油設備

1.種別

○A重油

○灯油

2.管種

○配管用炭素鋼鋼管（黒）

○銅管

○被覆鋼管

3.弁類

○鉄鉄製

○ダクタイル製

○青銅製

○鉄鋼製

4.油槽及び機械類

図内機器表による。

5.施工

消防法及び関係法令による。

○ガス設備

1.種別

○都市ガス（13A）

○液化石油ガス（○集中○個別）

図内機器表による。

2.機器

○配管用炭素鋼鋼管（白）

○圧力配管用炭素鋼鋼管

3.管種

○ポリエチレン被覆鋼管

○硬質塩化ビニル被覆鋼管

○ダクタイル鉄鉄管

○ガス供給者指定管

4.給排気管

○ガス供給者指定管

○標準仕様

5.施工

○都市ガス供給者の責任施工とする。

○液化石油ガス設備士の資格を有すること。

6.接続負担金

○要（別途）

保温防露塗装特記仕様書（市営住宅用）									
・保温防露仕様									
区分	施 工 場 所		施 工 種 別	材 料 及 び 施 工 順 序					
				保温筒材質	保温厚さ				
給水	屋内露出		合成樹脂製カバー仕上	P F	8 0 A迄2 0 mm 3 0 0 A迄2 5 mm	粘着テープ	合成樹脂製カバー 1		
	パイプシャフト		アルミガラスクロス化粧保温筒	〃	〃	アルミガラスクロス粘着テープ		アルミガラスクロス化粧保温筒	
	天井・空隙壁中		アルミガラスクロス化粧保温筒	GW	8 0 A迄2 0 mm 1 5 0 A迄2 5 mm	〃		〃	
	床下・暗渠内		着色アルミガラスクロス仕上	P F	8 0 A迄2 0 mm 3 0 0 A迄2 5 mm	粘着テープ	ホリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス	
	屋内露出（ポンプ室）		アルミガラスクロス仕上	GW	8 0 A迄2 0 mm 1 5 0 A迄2 5 mm	鉄 線	原 紙	アルミガラスクロス	
排水	屋内露出		合成樹脂製カバー仕上	P F	8 0 A迄2 0 mm 3 0 0 A迄2 5 mm	粘着テープ	合成樹脂製カバー 1		
	天井・パイプシャフト内・空隙壁中		アルミガラスクロス化粧保温筒	GW	8 0 A迄2 0 mm 1 5 0 A迄2 5 mm	アルミガラスクロス粘着テープ		アルミガラスクロス化粧保温筒	
	屋内露出（ポンプ室）		アルミガラスクロス仕上	GW	〃	鉄 線	原 紙	アルミガラスクロス	
給湯	屋内露出		合成樹脂製カバー仕上	GW	8 0 A迄2 0 mm 1 5 0 A迄2 5 mm	〃	合成樹脂製カバー 1		
	天井・パイプシャフト内・空隙壁中		アルミガラスクロス化粧保温筒	〃	〃	アルミガラスクロス粘着テープ		アルミガラスクロス化粧保温筒	
	床下・暗渠内		着色アルミガラスクロス仕上	〃	〃	鉄 線	ホリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス	
換気用ダクト			平面図記載の通り。						
レンジフード用ダクト	排気用	アルミガラス化粧帯	RW	5 0 mm					
	給気用	アルミガラス化粧帯	GW	2 5 mm					
居室天井内給排気筒	排気筒	アルミガラスクロス仕上	RW	2 0 mm	アルミガラスクロス仕上		可燃物接触部分は、ロックウール5 0 mmとする。		
	給気筒	アルミガラスクロス仕上	GW	2 0 mm	アルミガラスクロス仕上				
居室露出部給排気筒	排気筒	アルミガラスクロス仕上	RW	2 0 mm	合成樹脂製カバー仕上				
	給気筒	アルミガラスクロス仕上	GW	2 0 mm	合成樹脂製カバー仕上				
片廊下天井内給排気筒	排気筒	鉄板ラッキング仕上	RW	2 0 mm	鉄板ラッキング（t＝0.6 mm）仕上		可燃物接触部分は、ロックウール5 0 mmとする。		
	給気筒	鉄板ラッキング仕上	GW＋RW	2 0 mm＋2 0 mm	鉄板ラッキング（t＝0.6 mm）仕上				
注意事項 1. GW保温材（保温筒、保温板、保温帯）は、J I S A 9 5 0 4 に規定した4 0 K以上のものを使用すること。 （スパイラルダクト、耐火二層管、換気用塩化ビニル製フレキシブル継手は3 2 Kとしてもよい。） 2. パイプシャフト内のドレンバルブ、止水用仕切弁はグラスウール2 5 mm＋アルミガラスクロス仕上とする。 3. 通気管（排水に準ずる）は、原則として外壁から1.5 m防露を行う。 4. 消火管の防露工事は行わない。 5. 住戸内流し下の排水管の保温は、グラスウール2 0 mm＋合成樹脂カバー仕上とする。									
・塗装仕様									
種 類		施工場所	塗料の種別	塗り回数					
亜鉛めっき鋼管及び同用継手		露出	調合ペイント	さび止め1回		ペイント2回			
		隠ぺい	サビ止めペイント	さび止め2回		ねじ部のみ			
ライニング鋼管（黒）及びコーティング（黒）		露出	調合ペイント	さび止め1回		ペイント2回			
		隠ぺい	サビ止めペイント	さび止め2回		ねじ部のみ			
黒管及び同用継手		露出	アルミニウムペイント	さび止め2回		ペイント2回	但し、蒸気管以外は調合ペイント仕上とする。		
		隠ぺい	サビ止めペイント	さび止め2回					
注意事項 1. ビット内及び床下に用いる排水用各種鋼管は、一次防錆の上にさび止め1回塗りとする。 2. 排水設備において、塩化ビニル管及び床下露出配管は原則として防露塗装は行わない。 3. 排水設備において、物入れ・石炭庫内及び露出の耐火二層管は、管上目止め1回＋調合ペイント2回塗りとする。									

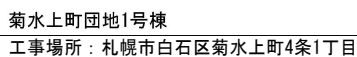
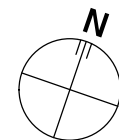
その他注意事項

1. 防水貫通処理
2. 配管支持
3. 支持金物
4. バルブ名札
5. 管内洗浄
6. 埋設深度
7. その他
8. 詳細は、下記による。
9. プレス等による機器の触れ止めは、天井吊長さが2 0 0 mm以下の場合は不要としてもよい。
10. 機器据付におけるあと施工アンカーの性能を確認する。
- ビット内等防水をしている部分を貫通する場合、防水型スリーブを使用し、かつ、コーキング施工をする。
- （1）埋設配管は、土間スラブ配筋から支持金物により支持する。
- （2）横走り主管・立て管は、地震・振動などにより脱落等を起こさないよう必要個所に振れ止め・床固定を行う。
- 外壁等の多湿個所に使用する露出配管等の支持金物は、S U S 3 0 4 とする。
- また、ビット内に使用する支持金物や吊り棒は、S U S 3 0 4 又は合成樹脂被覆付鋼材とする。
- （1）室名等を記入し、「玉鎖」でバルブから吊るす。文字はエナメル書き等とする。
- （2）水抜装置は系統名等（室名）を記入し、バルブ操作口付近に設置する。
- （3）消火水抜弁の表示をする。表示板は赤字アクリル板（1 0 0 mm×3 0 0 mm）に、「消火水抜弁」として白色文字の彫り込みとする。
- 洗浄及び水質検査は、管内洗浄仕様書による（機械設備工事提出書類、様式集及び施工要領集）
- 検査項目は下記による（ビル管理法に該当する場合は（ ）の項目を追加する。）
- 検査項目：一般細菌・大腸菌・硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素・亜硝酸態窒素・鉄及びその化合物・塩化物イオン・有機物(全有機炭素(T O C)の量)・p H値・味・臭気・色度・濁度・残留塩素・（鉛及びその化合物・亜鉛及びその化合物・銅及びその化合物・蒸発残留物）
- 市水道直結部分・ポリエチレン管部分・便所部分は洗浄しない。
- 消火管の地中埋設深さは、土被り1 1.0 0 0 mmを原則とする。
- （1）ダクトのフランジ用パッキンは、非アスベスト系のものを使用する。
- （2）露出部分のナットは、化粧ナットとする。
- （3）屋外埋設管（排水管を除く）は、地表から3 0 0 mm程度の深さに表示テープを埋設する。
- （4）公道部の埋設給水管は、地表から7 0 0 mm程度の深さに水道局指定の標識シートを埋設する。
- 公営住宅施工要綱（機械設備課編）による。

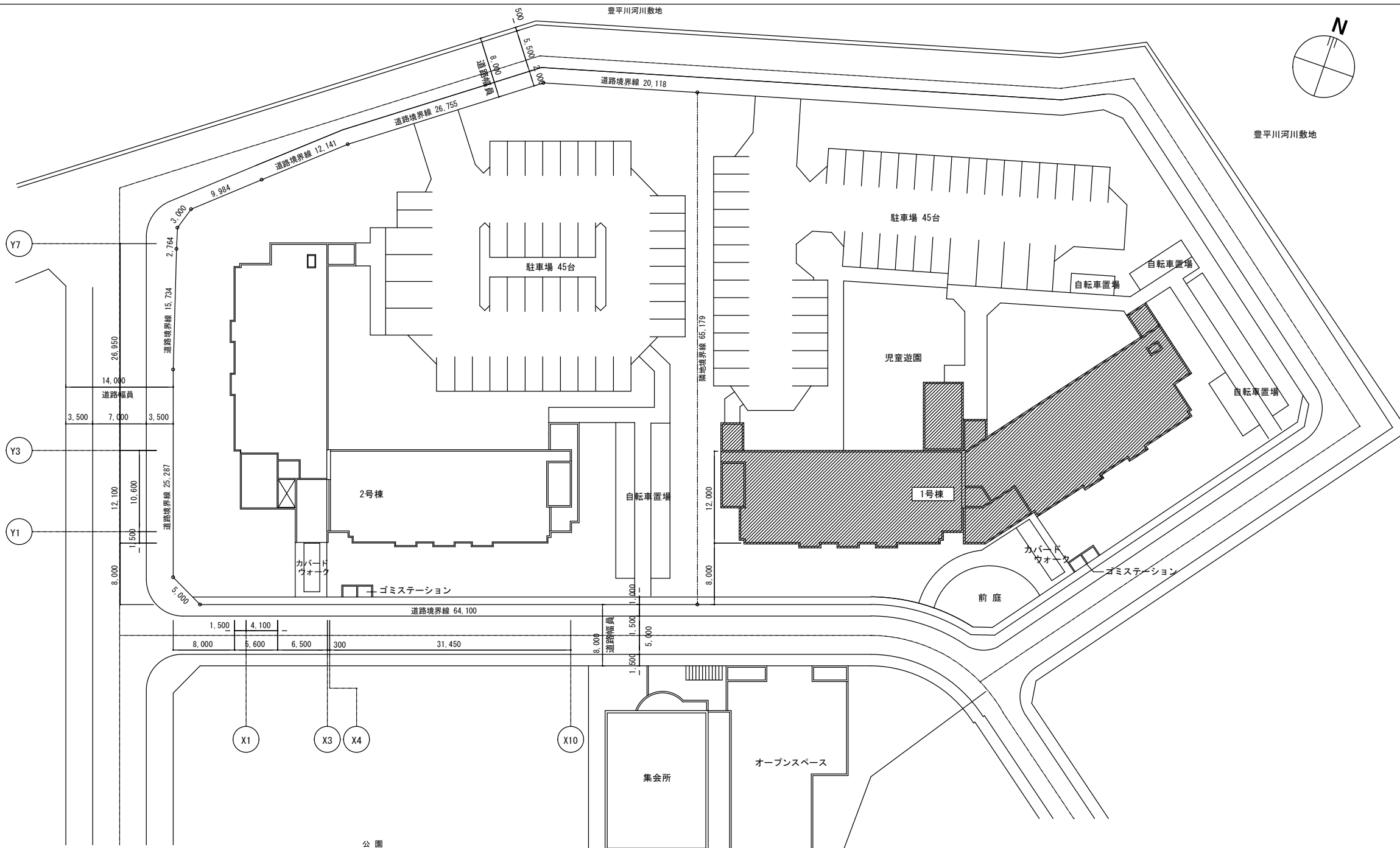
○住宅瑕疵担保責任の履行の確保等について

1. 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」（平成1 9 年法律第6 6 号）に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うこと。

- ※ 別途電気工事（菊水上町団地1号棟著熱暖房器改修工事）が入るので日程を工事業者および団地住民の方と調整の上、施工すること。
- ※ 工場製作のみを施工している期間は、工事現場の安全が確保されており、かつ常時監督員と連絡が取れる体制が整っている場合に限り、現場代理人の工事現場における常駐は要しないものとする。ただし、常駐しない期間については工事打合せ記録簿等の書面により明確にしておくものとする。



附近見取図 NO-SCALE



工 事 概 要

1. 給湯設備工事

(1). 1号棟-住戸数63戸の電気温水器を既存温水器を撤去し更新する。

1LDK -18戸-電気温水器容量-200L

1LDK(車)- 1戸-電気温水器容量-200L

水器容量-200L
水器容量-200L

19台 → 18台
(506号室既に取替済みにつき)

2LDK -17戸-電気温水器容量-460L

2LDK(車)- 2戸-電気温水器容量-460L

3LDK -25戸-電気温水器容量-460L

水器容量-460L	44台 → 42台 (602、703号室既に取替済みにつき)
-----------	-----------------------------------

全住戸数に対し電気温水器-200L×1台、460L×2台は既に更新済みにつき今回工事に含まず。

(2). 電気温水器仕様は既設品と同等とし、日水協認定品、及び深夜電力8時間通電制御(マイコン型)とする。

配置図 S=1/300

1 号棟

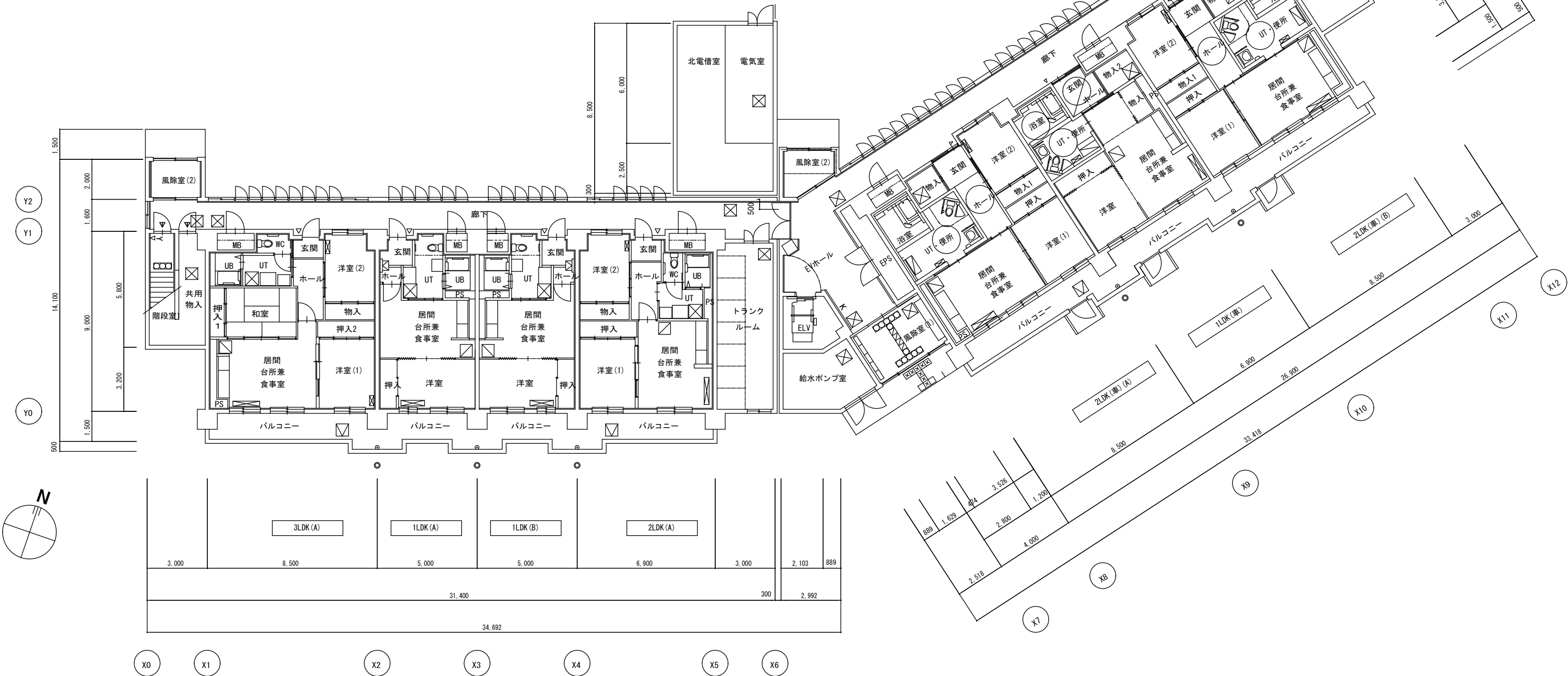
[illegible]

住戸一覧表

註：  部分の住戸の既設電気温水器は更新済みにつき今回工事に含まず。

9階	3LDK (A)	1LDK (A)	1LDK (B)	2LDK (A)		3LDK (B)	2LDK (B)	3LDK (C)
8階	3LDK (A)	1LDK (A)	1LDK (B)	2LDK (A)		3LDK (B)	2LDK (B)	3LDK (C)
7階	3LDK (A)	1LDK (A)	1LDK (B)	2LDK (A)		 3LDK (B)	2LDK (B)	3LDK (C)
6階	3LDK (A)	1LDK (A)	1LDK (B)	2LDK (A)		3LDK (B)	 2LDK (B)	3LDK (C)
5階	3LDK (A)	 1LDK (A)	1LDK (B)	2LDK (A)		3LDK (B)	2LDK (B)	3LDK (C)
4階	3LDK (A)	1LDK (A)	1LDK (B)	2LDK (A)		3LDK (B)	2LDK (B)	3LDK (C)
3階	3LDK (A)	1LDK (A)	1LDK (B)	2LDK (A)		3LDK (B)	2LDK (B)	3LDK (C)
2階	3LDK (A)	1LDK (A)	1LDK (B)	2LDK (A)		3LDK (B)	2LDK (B)	3LDK (C)
1階	3LDK (A)	1LDK (A)	1LDK (B)	2LDK (A)		2LDK (車) (A)	1LDK (車)	2LDK (車) (B)

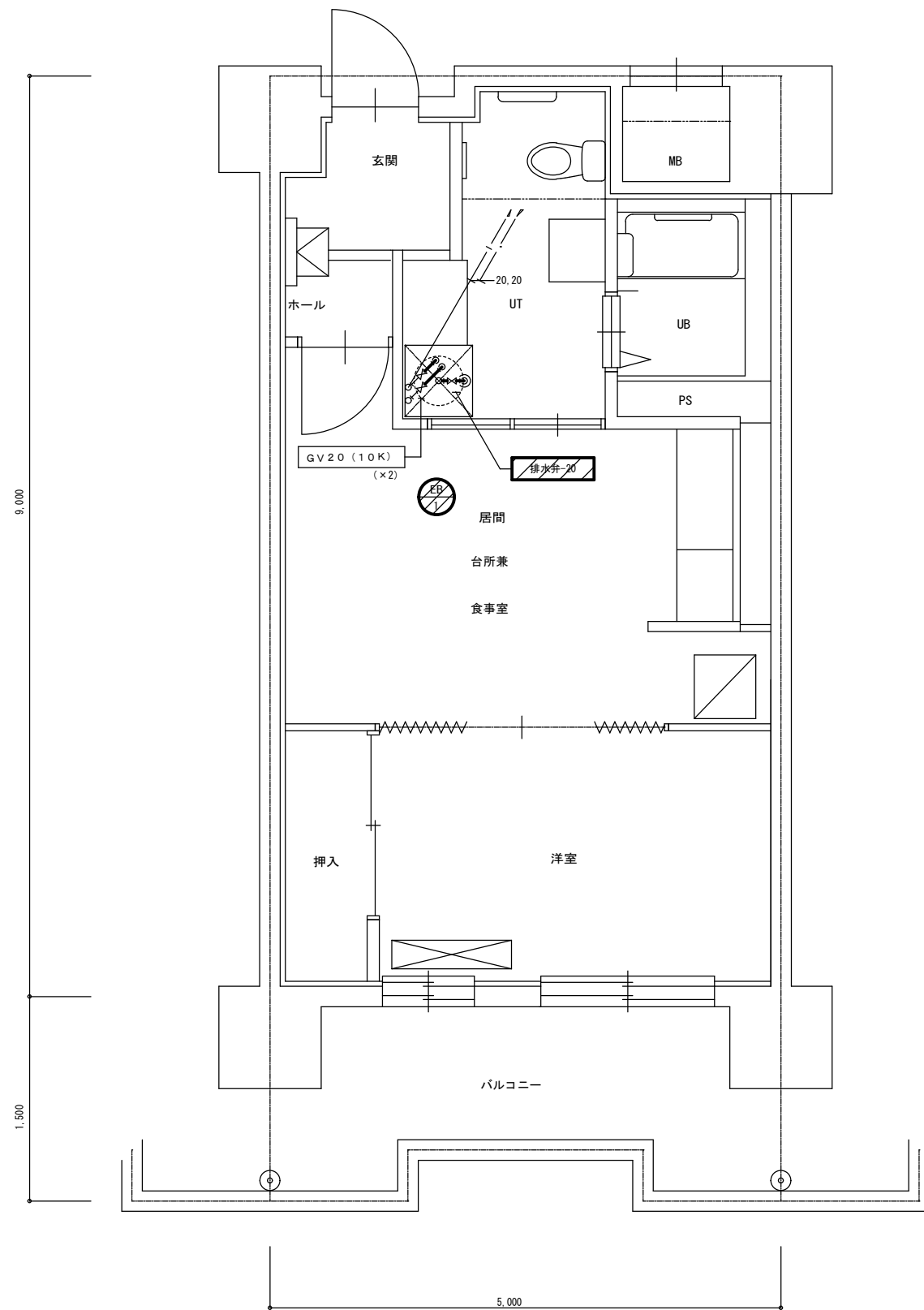
住戸タイプ	戸数	
3LDK (A)	9	25
3LDK (B)	8	
3LDK (C)	8	
2LDK (A)	9	17
2LDK (B)	8	
1LDK (A)	9	18
1LDK (B)	9	
1LDK (車)	1	1
2LDK (車) (A)	1	2
2LDK (車) (B)	1	
1号棟住戸数 合計	63	63



1階平面図 S=1/100

1号棟

				株式会社 協栄設備設計事務所				設計年月日 R6 . 10 .	工事名 菊水上町団地1号棟電気温水器改修工事	図番 5 / 12
				1級建築士事務所登録 (石) 第 4668 号 管理建築士 第 89785 号 高山 征一				検図	検図	
								担当	製図	
								図面名 1階平面図、住戸一覧表		縮尺 A1 1/100 A3 1/200

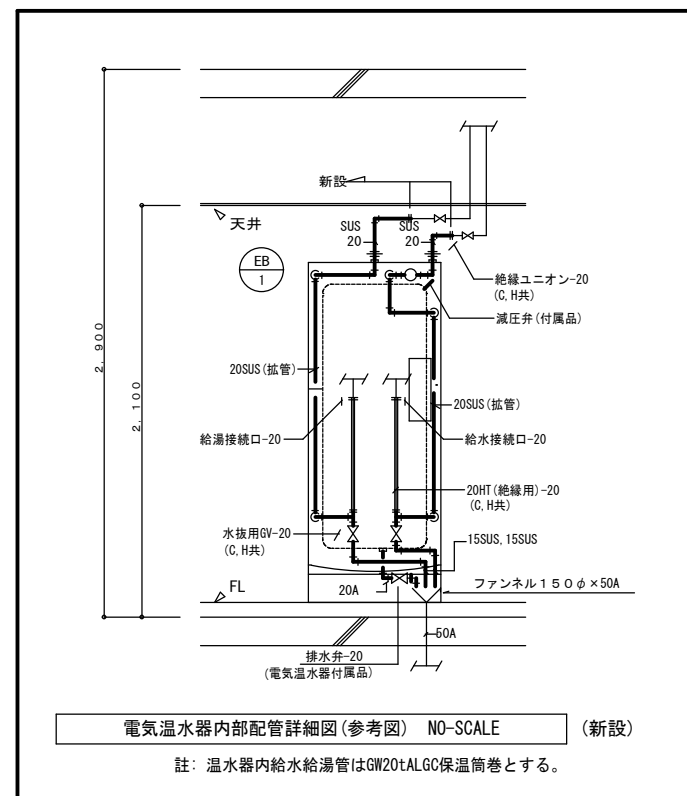


註：(1)  は撤去を示す。
(2)  は既設を示す。

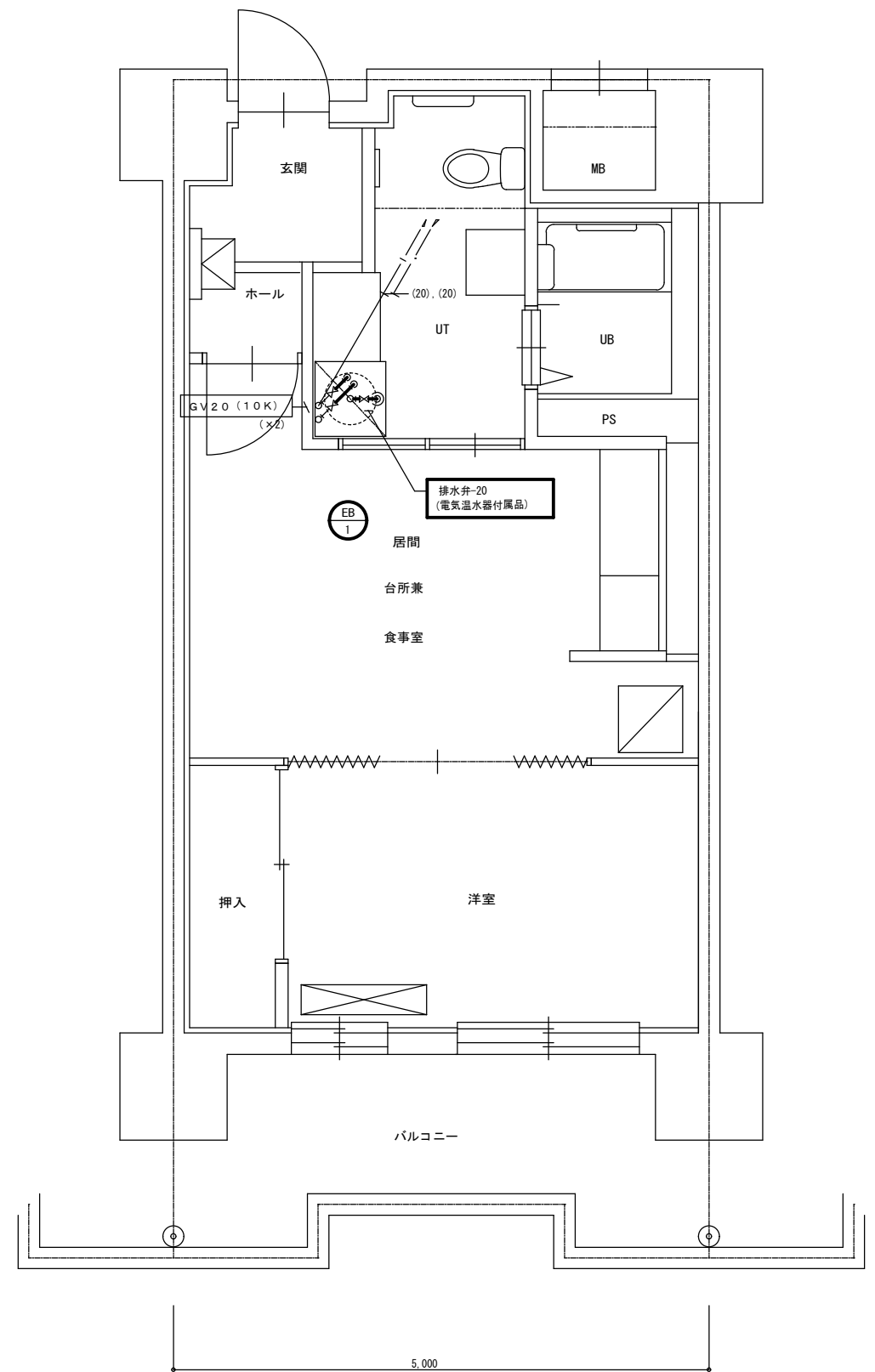
器具表（1 住戸当り）

記号	器具名称	仕様	数量	備考
FB-Y	電気温水器	角型配管内蔵、8時間通電制御型（深夜電力） 缶体容量200L、沸上温度90℃以下 1φ×200V→2.4KW、缶体 SUS製 付属品（逃がし弁、ドレンパン、減圧弁 上部転倒防止金物）一式、排水フロー弁共	18	日本協認定品 497×580×1,800H 45Kg

(撤去)



註：温水器内給水給湯管はGW20tALGC保温筒巻とする。



1LDK-(A) (B) 平面詳細図 S=1/30 (給湯設備) (改修後)

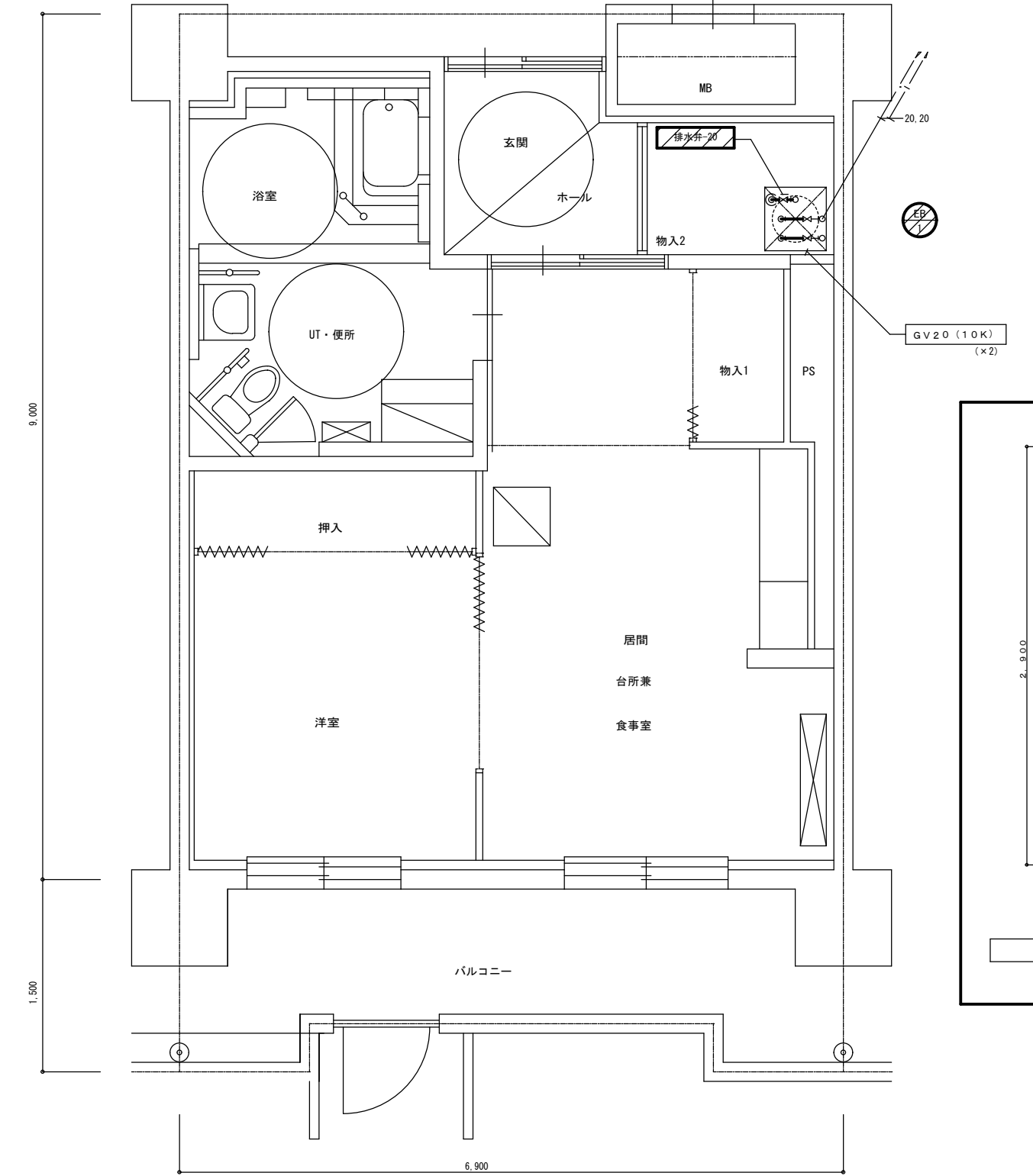
註：(1) は新設を示す。
(2) () は既設を示す。
(3) 温水器上部給水・給湯露出配管は壁からの支持金物(新設)にて固定する。

器具表（1 住戸当り）

記号	器 具 名 称	仕 様	数 量	備 考
EB-1	電気温水器	角型配管内蔵、８時間通電制御型（深夜電力） 缶体容量２００Ｌ、沸上温度９０℃以下 １φ×２００Ｖ－２．４ＫＷ、缶体 ＳＵＳ製 付属品（ドレンパン、脚部カバー、減圧弁 転倒防止金物）一式、排水フロー弁共	18	日水協認定品 (逆脚タイプ)

1 号棟

[illegible]



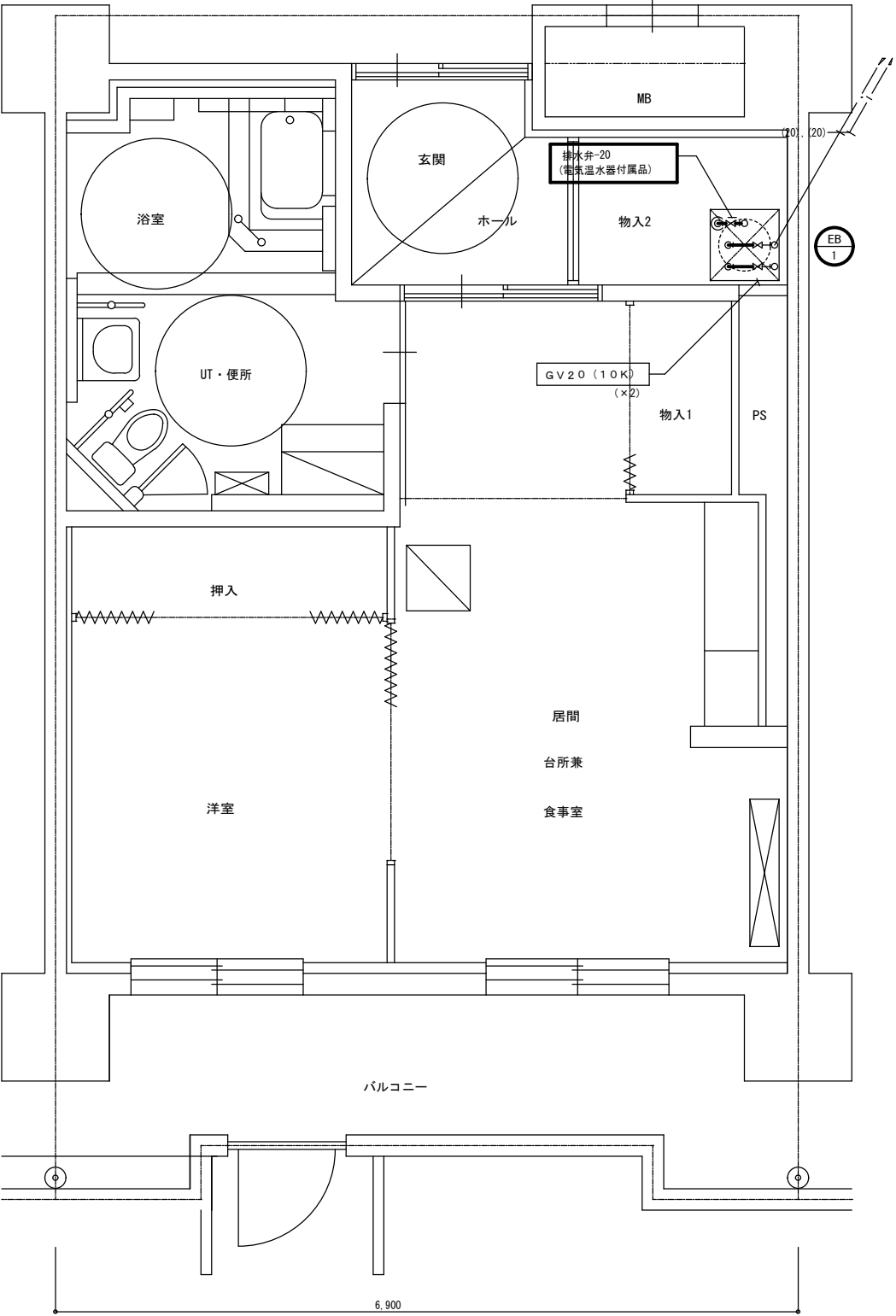
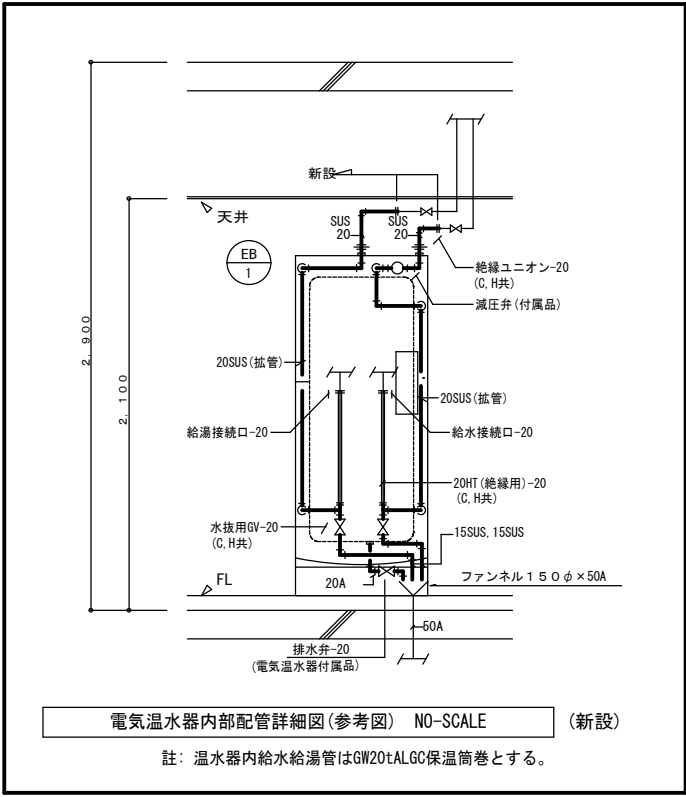
1LDK-(車)平面詳細図 S=1/30 (給湯設備) (改修前)

註: (1) は撤去を示す。
(2) は既設を示す。

器具表 (1住戸当り) (改修前)

記号	器具名称	仕様	数量	備考
EB-1	電気温水器	角型配管内蔵、8時間通電制御型 (深夜電力) 缶体容量200L、沸上温度90℃以下 1φ×200V-2、4KW、缶体 SUS製 付属品 (逃がし弁、ドレンパン、減圧弁 上部転倒防止金物) 一式、排水ブロー弁共	1	日水協認定品

(撤去)



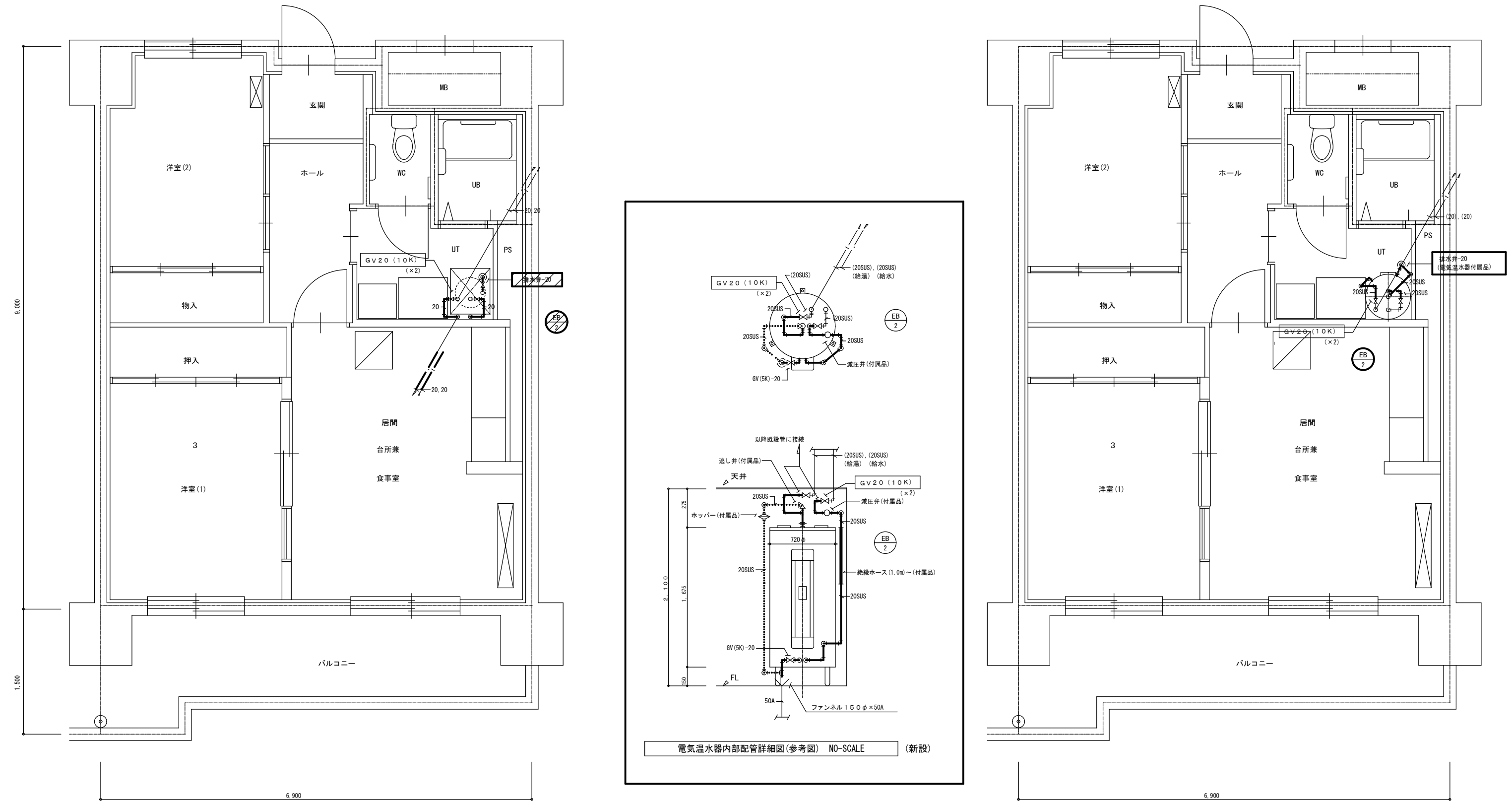
1LDK-(車)平面詳細図 S=1/30 (給湯設備) (改修後)

註: (1) は新設を示す。
(2) は既設を示す。
(3) 温水器上部給水・給湯露出配管は壁からの支持金物 (新設) にて固定する。

器具表 (1住戸当り) (改修後)

記号	器具名称	仕様	数量	備考
EB-1	電気温水器	角型配管内蔵、8時間通電制御型 (深夜電力) 缶体容量200L、沸上温度90℃以下 1φ×200V-2、4KW、缶体 SUS製 付属品 (ドレンパン、脚部カバー、減圧弁 転倒防止金物) 一式、排水ブロー弁共	1	日水協認定品 (逆脚タイプ)

1号棟



2LDK-(A) (B) 平面詳細図 S=1/30 (給湯設備) (改修前) (×17戸)

2LDK-(A) (B) 平面詳細図 S=1/30 (給湯設備) (改修後) (×17戸)

註: (1) は撤去を示す。
(2) は既設を示す。

註: (1) , は新設を示す。
(2) () は既設を示す。
(3) 温水器上部給水・給湯露出配管は壁からの支持金物(新設)にて固定する。

器具表 (1 住戸当り) (改修前)

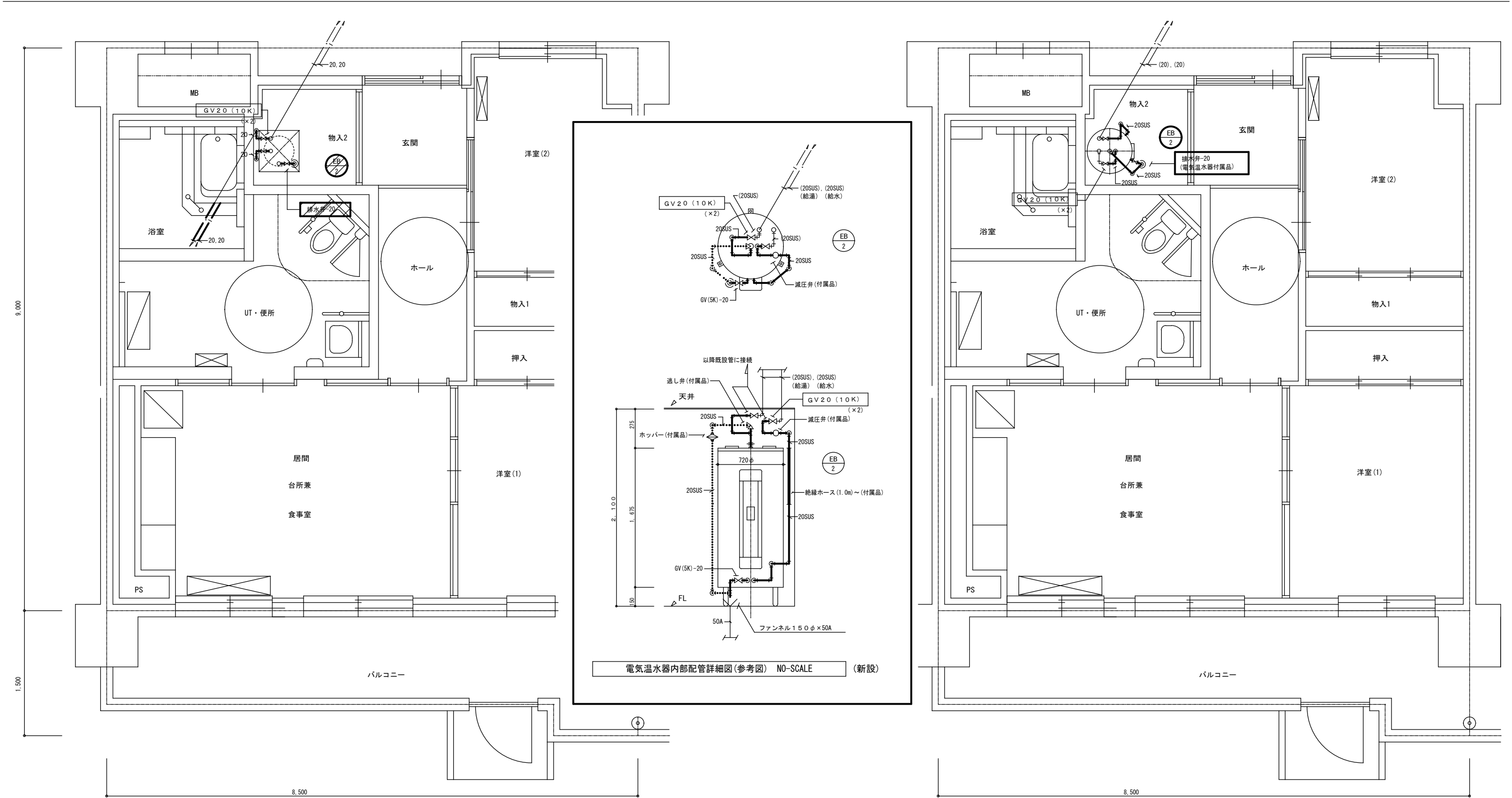
記号	器具名称	仕様	数量	備考
EB-2	電気温水器	角型配管内蔵、8時間通電制御型(深夜電力) 缶体容量460L、沸上温度90℃以下 1φ×200V-5.4KW、缶体 SUS 製 付属品(逃がし弁、ドレンパン、減圧弁 上部転倒防止金物)一式、排水ブロー弁共	17	白水協認定品

(撤去)

器具表 (1 住戸当り) (改修後)

記号	器具名称	仕様	数量	備考
EB-2	電気温水器	丸型マンションタイプ、8時間通電制御型(深夜電力) 缶体容量460L、沸上温度90℃以下 1φ×200V-5.4KW、缶体 SUS 製 付属品(逃がし弁、絶縁パイプ、ホッパ、減圧弁 上部転倒防止金物)一式	17	白水協認定品

1号棟



2LDK-(車) (A) (B) 平面詳細図 S=1/30 (給湯設備) (改修前)

註: (1)  は撤去を示す。
(2)  は既設を示す。

器具表 (1 住戸当り) (改修前)

記号	器具名称	仕様	数量	備考
EB-2	電気温水器	角型配管内蔵、8時間通電制御 (深夜電力) 缶体容量460L、沸上温度90℃以下 1φ×200V-5.4KW、缶体 SUS製 付属品 (逃がし弁、ドレンパン、減圧弁 上部転倒防止金物) 一式、排水ブロー弁共	2	日水協認定品

(撤去)

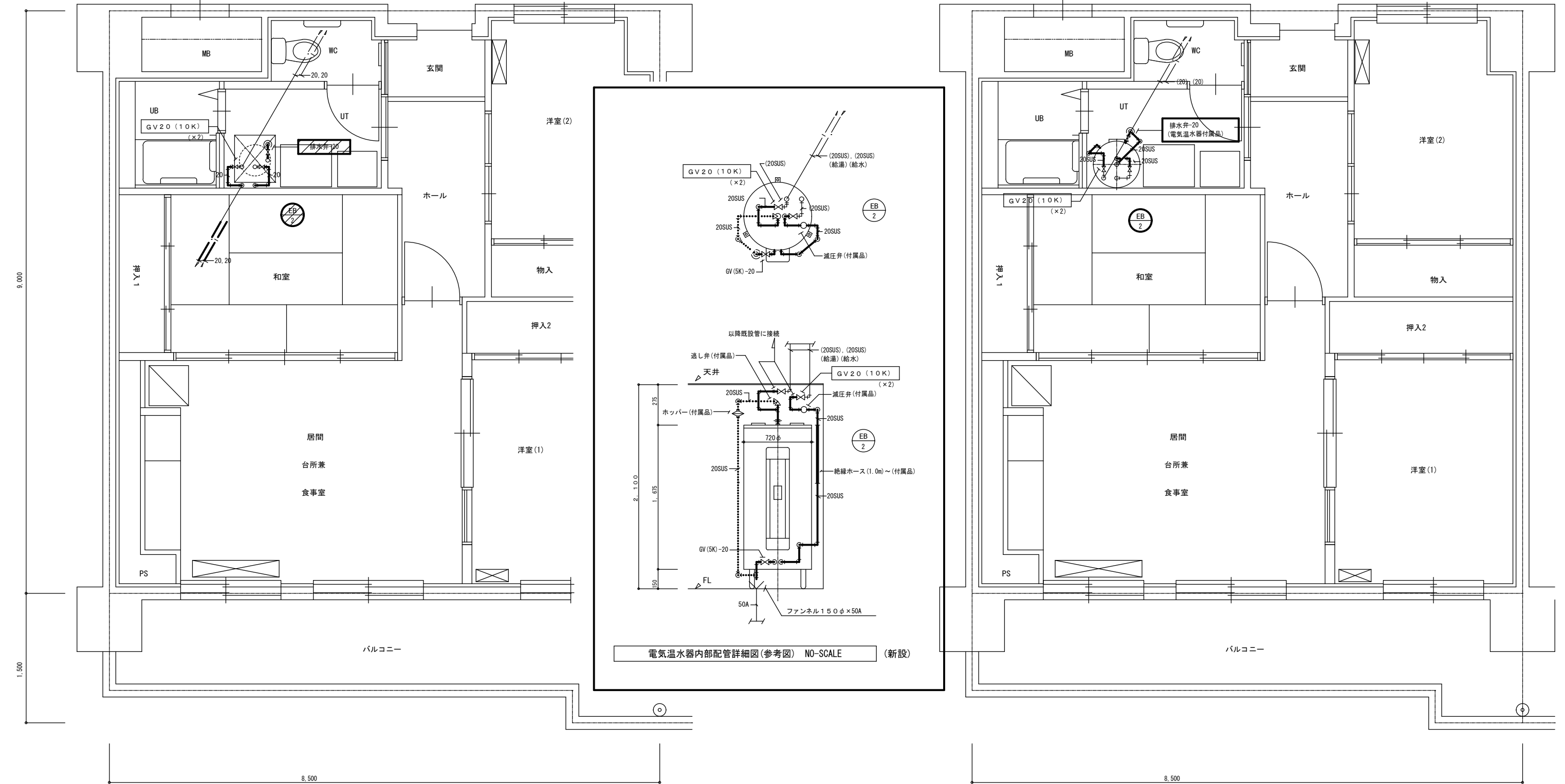
器具表 (1 住戸当り) (改修後)

記号	器具名称	仕様	数量	備考
EB-2	電気温水器	丸型マンションタイプ、8時間通電制御型 (深夜電力) 缶体容量460L、沸上温度90℃以下 1φ×200V-5.4KW、缶体 SUS製 付属品 (逃がし弁、絶縁パイプ、ホッパー、減圧弁 上部転倒防止金物) 一式	2	日水協認定品

2LDK-(車) (A) (B) 平面詳細図 S=1/30 (給湯設備) (改修後)

註: (1) 、 は新設を示す。
(2) () は既設を示す。
(3) 温水器上部給水・給湯露出配管は壁からの支持金物 (新設) にて固定する。

1号棟



3LDK-(A) (B) (C) 平面詳細図 S=1/30 (給湯設備) (改修前)

註: (1)  は撤去を示す。 (×25戸)
(2)  は既設を示す。

器具表 (1 住戸当り) (改修前)

記号	器具名称	仕様	数量	備考
EB-2	電気温水器	角型配管内蔵、8時間通電制御 (深夜電力) 缶体容量460L、沸上温度90℃以下 1φ×200V-5.4KW、缶体 SUS製 付属品 (逃し弁、ドレンパン、減圧弁 上部転倒防止金物) 一式、排水ブロー弁共	25	日水協認定品

(撤去)

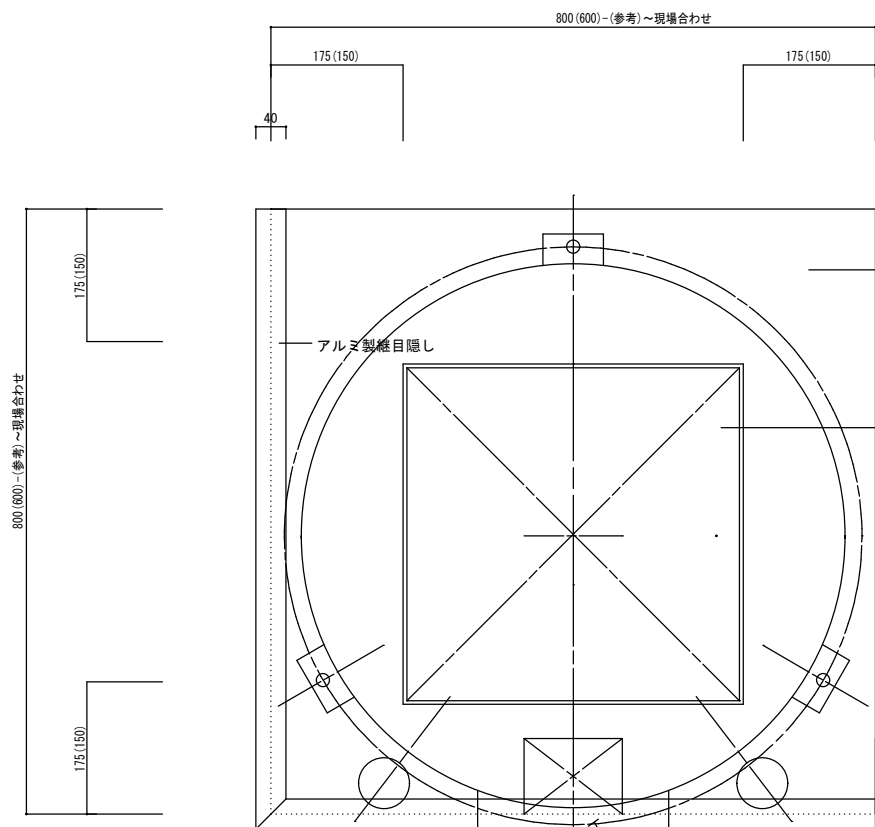
3LDK-(A) (B) (C) 平面詳細図 S=1/30 (給湯設備) (改修後)

註: (1) 、 は新設を示す。 (×25戸)
(2)  は既設を示す。
(3) 温水器上部給水・給湯露出配管は壁からの支持金物 (新設) にて固定する。

器具表 (1 住戸当り) (改修後)

記号	器具名称	仕様	数量	備考
EB-2	電気温水器	丸型マンションタイプ、8時間通電制御 (深夜電力) 缶体容量460L、沸上温度90℃以下 1φ×200V-5.4KW、缶体 SUS製 付属品 (逃し弁、絶縁パイプ、ホッパ、減圧弁 上部転倒防止金物) 一式	25	日水協認定品

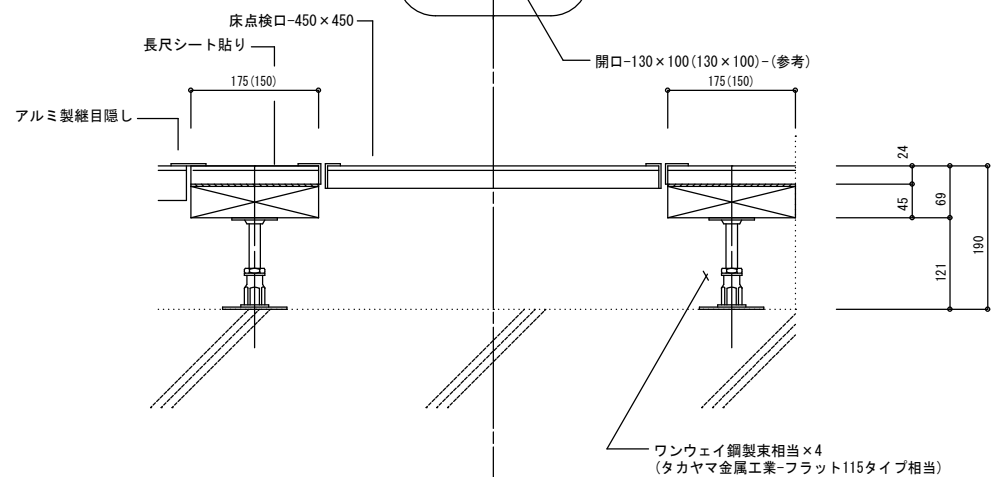
1 号棟



木製床 (合板)

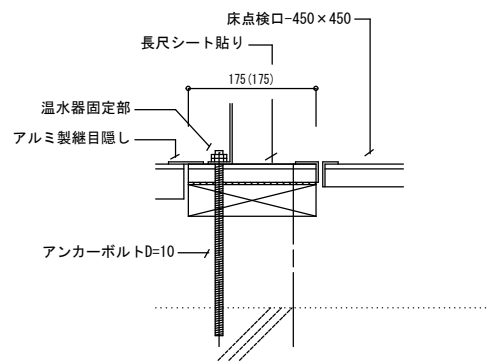
床点検口-450 x 450 ~ 床開口800²の場合 ~ 温水器-460Lの場合
(床開口-450 x 450)

床点検口-300 x 300 ~ 床開口600²の場合 ~ 温水器-200Lの場合
(床開口-300 x 300)

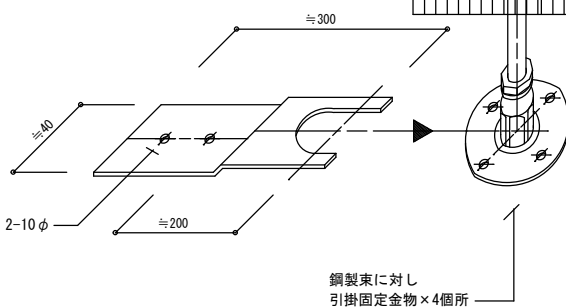


電気温水器 (200L) (460L) 設置部分床補修参考図 S=1/5

註: 1号棟-600 x 600-18組、800 x 800-42組



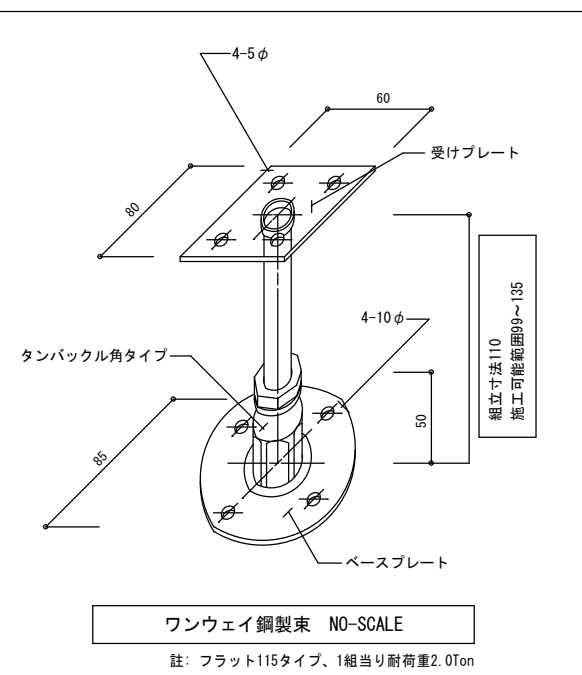
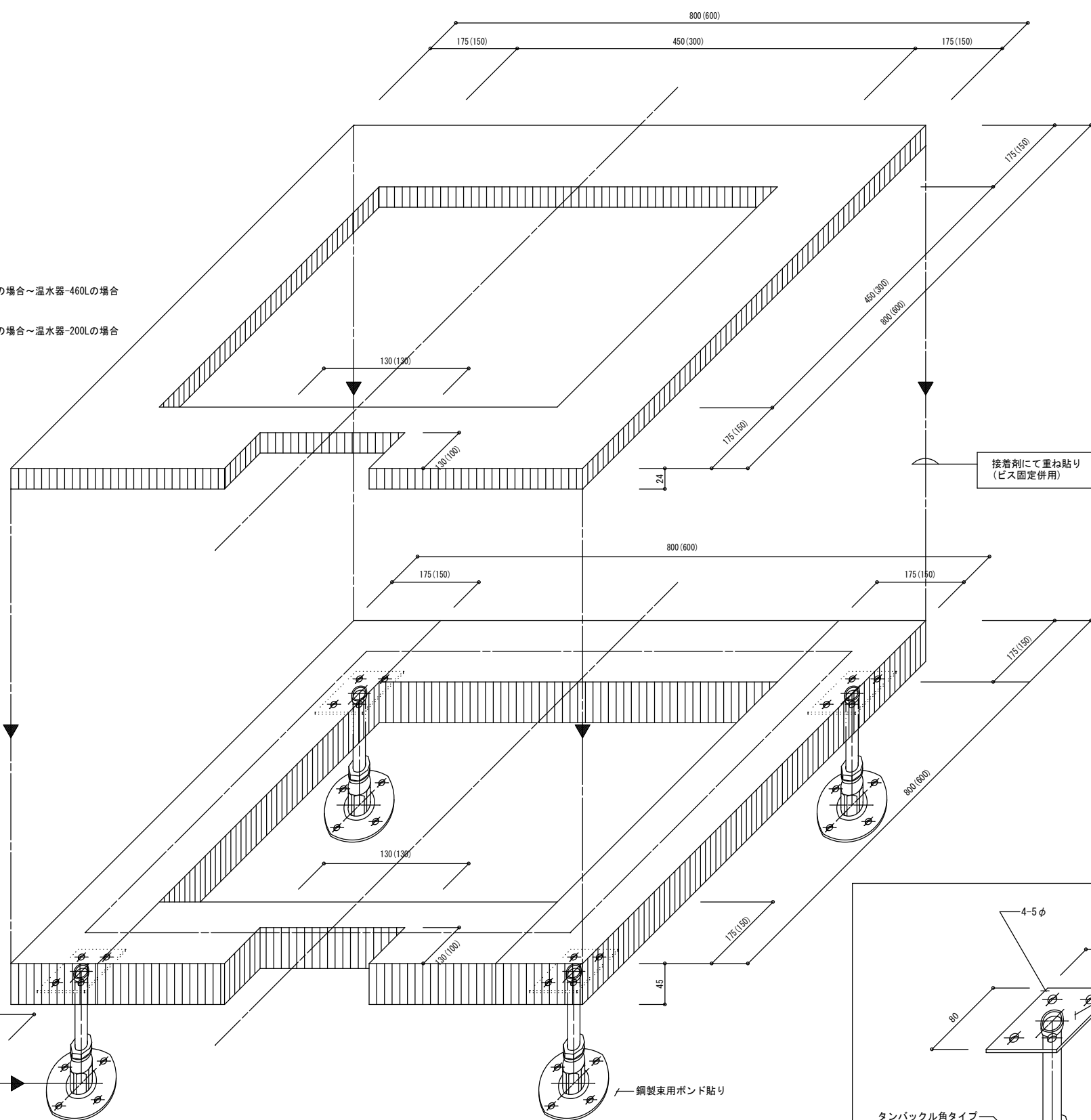
電気温水器 (200L) (460L) 設置固定部分床補修参考図 S=1/5



鋼製束に対し
引掛固定金物 x 4箇所

註: () 内の寸法は200L電気温水器の床補修材の寸法を示す。

※ この床補修材は既設置床面が掘り下がっているため、
不陸を解消するため行うものである。



註: フラット115タイプ、1組当り耐荷重2.0Ton

				株式会社 協栄設備設計事務所 1級建築士事務所登録 (石) 第 4668 号 管理建築士 第 89785 号 高山 征一	設計年月日 R6 . 10 .		工事名 菊水上町団地 1号棟電気温水器改修工事		図番 12 / 12		
					検図	検図	担当	製図		図面名 電気温水器 (200L) (460L)設置部分床補修参考図	縮尺 A1 1/5 A3 1/10